

おはようございます。

7月に入り、通常登校が始まって2週目となりました。皆さんが登校するようになって、学校全体が活気づきました。先生方も張り切っています。そんな様子を見て、私は、あらためて「学校って、本当にいいところだなあ。」と思いました。

さて、今日は何の日か知っていますか？

▶そう、七夕ですね。

七夕は、中国大陸、日本、韓国、台湾、ベトナムなどにおける節供の一つです。日本の「たなばた」は、▶もともと中国での行事であった七夕（しちせき）が奈良時代に伝わり、元からあった日本の棚機津女（たなばたつめ）の伝説と合わさって生まれたそうです。▶奈良時代は、710年から794年とされていますので、▶1200～1300年ほど昔のことです。江戸時代には、伝統的な年中行事を行う季節の節目となる日として、▶5つの節句が公的な行事として認められていました。

ちなみに、5つの節句とは、▶人日（じんじつ）の節句、上巳（じょうし）の節句、端午（たんご）の節句、七夕（しちせき）の節句、重陽（ちょうよう）の節句の5つです。

▶人日（じんじつ）の節句は、1月7日です。七草の節句とも呼ばれます。

▶上巳（じょうし）の節句は、3月3日です。桃の節句とも呼ばれます。みなさんには、ひなまつりと言った方が分かりやすいですね。

▶端午（たんご）の節句は、5月5日です。菖蒲の節句とも呼ばれます。子供の日ですね。

▶七夕（しちせき）の節句は、7月7日です。七夕（たなばた）と呼ぶのが一般的ですね。

▶重陽（ちょうよう）の節句は、9月9日です。菊の節句とも呼ばれます。

▶さて、七夕に話を戻すと、日本に伝わってから1300年もたっているのに、色々な地方で、様々な風習があるようですが、全国的には、短冊に願い事を書いて笹の葉に飾ることが一般的に行われています。この風習は江戸時代に日本独自で始まったようです。皆さんはどんな願いごとを書きましたか？

▶さあ、1学期の終わりまで4週間です。新しい生活様式を身に付けながら、学習に、運動に、ベストを尽くしましょう。7月31日には、みなさんの素晴らしい笑顔が見られることを楽しみにしています。

▶それでは、これでわたしの話を終わります。